

6-2 東北支部

1. 支部の現況

- (1) 平成 28 年度末会員数 102 社
- (2) 平成 29 年度入会会員数 3 社
- (3) 平成 29 年度退会会員数 3 社
- (4) 平成 29 年度末会員数 102 社

2. 平成 29 年度の活動実績

2-1 地域への貢献活動

- (1) 社会貢献活動
行政機関と共催の高校生対象の橋梁模型作品発表会の開催
- (2) 一般市民を対象とした講演会
社会資本整備の必要性を広く社会に訴える講演会「3.11 を忘れない～東北の復興のあゆみ、そしてこれから～」を 11 月 9 日に、東北地方整備局、河北新報社等の後援により開催（参加者 180 名）
- (3) 新技術展示会「EE 東北'17」に実行委員として参画
出展者数 292 社、出展技術数 869 技術、来場者数過去最多約 15,700 人

2-2 会員企業等への貢献活動

- (1) 講習会・講演会・研修会
 - ・道路・構造講習会
 - ・河川・環境講習会
 - ・地盤・防災講習会
 - ・本部委員会の講習会（マネジメント、エラー防止、GIS、情報セキュリティなど）
 - ・独占禁止法の遵守に関する講習会
- (2) 現場見学会
 - ・道路・構造現場見学会
 - ・河川・環境現場見学会
 - ・地盤・防災現場見学会
- (3) 官公庁職員研修への研修講師の派遣
国、県市職員研修に講師を派遣 53 講座
66 名派遣
- (4) 意見交換会
 - ・東北地方整備局 2回

- ・東北6県および仙台市 各1回
- (5) 会誌「JCCA 東北」発行
 - ・2回発行 1回の発行部数 1,000部

3. 平成 30 年度の活動予定

3-1 地域への貢献活動

- (1) 行政機関と共催の高校生対象の橋梁模型作品発表会の開催
- (2) 社会資本整備の必要性を広く社会に訴える講演会の開催（東北支部設立 50 周年記念式典と同時開催）
- (3) 新技術展示会「EE 東北'18」に実行委員として参画
- (4) 東北地方の「復興から創生そして近未来への提言」の発刊・配付

3-2 会員企業等への貢献活動

- (1) 会員各社の技術者のための技術習得を目的とした道路・河川・地盤の現場見学会、講習会、勉強会を実施する。
- (2) 国、県市職員研修に講師を派遣する。
- (3) 東北地方整備局及び東北 6 県、仙台市と意見交換会を実施する。
- (4) 会員企業の相互の親睦を深め、健康増進、リフレッシュを図るための交流会、スポーツ行事を実施する。
- (5) 会誌「JCCA 東北」を年 2 回発行する。
- (6) 「東北土木技術人材育成協議会」による「基礎技術講習会」等に参画する。
- (7) 東北支部「若手の会」による若手技術者との講習会・交流会等を実施する。

4. その他

東日本大震災から丸 7 年、この間に基盤インフラの復旧はもとより、地域産業・生業の再生など、復興は一步一步進んできた。「復興まであと 3 年」という言葉を耳にするが、復興を支えるインフラの完成であり、3 年で被災地域の再生が全て完了する訳ではない。インフラは土台であって、土台の上にもどのような地域社会を再生するか試される時代がきており、引き続き復興・再生支援を最優先課題として事業に取り組む。